

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県旭警察署協議会
日時	令和5年12月4日（月）午後1時30分から午後3時30分までの間
場所	神奈川県旭警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 副会長 金沢哲男 阿部順一、市川慎二、臼井教恵、大矢直子、岡田 隆、北澤正浩 久保田賢治、久保田真樹、佐藤 宏、土谷竜郎、土岐典子 中丸秀樹 計13人</p> <p>2 警察署側 署長 吉田善成、副署長 手島洋人、地域担当次長 岡本克英 警務課長 宮崎哲也、生活安全課長 石垣輝雄、刑事課長 本橋久雄 交通課長 高橋寛拓、警備課長 二瓶富徳、会計課係長 計9人</p>
議事要旨	<p>警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>「大規模災害について」</p> <p>1 「災害発生時に早期に警備体制を確立し、効果的な災害警備を実施してもらいたい。」との答申を受けて、次のとおり説明した。</p> <p>(1) 有事における警備体制を早期に確立するため、代替施設において無線機及び衛星電話機を活用した通話訓練を実施した。</p> <p>(2) 災害発生時には、迅速に関係機関と連携して警備体制を確立させることが重要であるため、平素から情報共有している。今後とも継続して関係機関等と連絡を密にし、連携の強化を図っていく。</p> <p>(3) 署員に対して、災害発生時の災害情報は非常に重要であり、当該情報は即座に集約し、警察組織に乗せるとともに、関係機関と情報共有する必要があることなどの教養を実施し、意識付けを図った。</p> <p>2 「予期せぬ大規模災害に対応できるように、準備に万全を期してもらいたい。」との答申を受けて、次のとおり説明した。</p> <p>(1) 災害現場における各種技術の向上を図るため、災害警備のエキスパートである本部危機管理対策課の「即応対策チーム」による巡回指導等を通じて、署員に対して災害に関する教養と装備資機材等の習熟訓練を実施した。</p> <p>(2) 留置施設において、災害発生時を想定した避難訓練を実施した。</p>

3 「官民連携の強化に努められたい。」との答申を受けて、次のとおり説明した。

(1) 旭区内で実施された防災訓練に積極的に参加して、連携の強化を図った。

(2) 秋の防災週間に合わせて、管内所在の公共交通機関施設、医療機関及びレジャー施設などに協力を依頼し、災害に関するチラシを掲示するなどして、旭区民及び当該施設利用者への周知を図った。

#### 諮問

自転車のマナーアップについて

#### 答申

1 あらゆる警察活動を通じて、自転車利用者に対する声掛けや注意を促すなどの効果的な指導警告を実施されたい。

2 自転車の安全利用やヘルメットの着用促進などについて、積極的な広報活動の推進と街頭活動の強化に努められたい。

3 自治体や関係機関などと連携して、保護者や子供に対して各種広報を行うとともに、自転車のルールや走行時のマナーの安全教育の実施に努められたい。

#### 業務説明

令和5年7月から9月までの業務推進結果及び令和5年10月から12月までの業務推進重点について、説明を行った。